

第 3 回大田区景観審議会専門部会議事要録

- 日 時 : 2014 年 3 月 20 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 00
- 場 所 : 大田区役所 7 階まちづくり管理課打合せコーナー
- 出 席 者 : 杉山先生、野原先生、杉田先生
大田区 西山課長、中村係長、石塚主任
- 資 料 : 表彰制度の枠組みについてメモ
大田区の表彰・応募制度について
景観まちづくりについて
- 議事内容

- 議 題 「景観まちづくり・表彰制度について」

- ・ 2 月に「吾妻橋の適切な色を検討するシンポジウム」が行われた。吾妻橋の塗替えをテーマに台東区と墨田区の「色彩基準」に既存の色彩が抵触することから、両区の景観審議会のメンバーを務める色彩の専門家らによる議論の経過等が紹介された。
- ・ 景観まちづくりや表彰制度の在り方については、まず区が何をやりたいのかを明確にするべき。
- ・ 建造物の調査を行うときは、中庭や門、塀、植栽などの配置等も対象とすべき。
- ・ 戸田市の「三軒協定」の補助制度等、ガーデニングや花、緑、外構等の景観に配慮を支援する仕組みを研究しては。
- ・ 戸建住宅へのサポートも考えては。
- ・ 来年度は、普及、発掘、基礎調査を行う。
- ・ 景観資源の追加は、区民の目線から考えていく必要がある。
- ・ 景観資源と表彰制度の関連性を検討する。
- ・ 「私の町思い」を地図上に落していく。
- ・ 区民と区との関わり方。協賛金や助成金。
- ・ 景観資源の追加には、判断する組織が必要。
- ・ 景観資源は指定されるとその周辺が配慮する制度なので、景観資源そのものに対する支援を考えてはどうか。
- ・ 景観資源に春、夏等の季節軸・朝、夜等の時間軸を考慮する。
- ・ 洗足池のある視点場からの規制を考慮してはどうか。
- ・ 表彰対象として、そのものだけを対象にするのか活動を対象にするのか。
- ・ 表彰されたことで励みにしている人や組織がある。

- ・背中を押してあげたい支援策。
- ・まもりたい景観資源を見つける。
- ・工場やのり問屋、銭湯などの調査を行う
- ・区としてどれにどうやって力をいれたいかをまとめる。
- ・表彰制度の目的をはっきりさせる。
- ・景観資源推薦のコスト感覚。関わり方、参加方法の検討。
- ・景観計画の効果の普及。物自体の表彰。活動自体の表彰。
- ・工場など、消えゆくものの保存へ向けた活動を支援。
- ・来年度、コンサルが決まり次第専門部会を開催して、一緒に検討する。